



2025年12月12日
東日本旅客鉄道株式会社

国際鉄道連合（UIC）会長への取締役会長・深澤祐二の就任について

- 東日本旅客鉄道株式会社（以下、JR 東日本）の取締役会長・深澤祐二が、12月11日にポーランドで開催された国際鉄道連合（以下、UIC）総会において UIC 会長に選出されました。
- UIC 会長就任を通じて、JR 東日本グループの知見と実績を活かし、世界の鉄道の技術革新、持続可能性や安全性の向上ならびに、国際的な鉄道政策や鉄道技術規格の策定に貢献していきます。
- UIC での活動を通じ世界の鉄道の発展に寄与することで、グループ経営ビジョン「勇翔 2034」に掲げる、世界におけるライフスタイル・トランスフォーメーション（LX）の実現を目指します。



1. UIC 会長就任について

JR 東日本の取締役会長・深澤祐二は、12月11日にポーランドで開催された UIC 総会において UIC 会長に選出され、2026年1月1日より就任します。深澤が2023年1月より UIC 理事及び UIC アジア太平洋地域運営委員を務めてきた功績と、JR 東日本がこれまで UIC 要職を担ってきた実績が評価され、この度の選出に至りました。JR 東日本からの UIC 会長への就任は2009年～2012年にかけての石田義雄、清野智以来3人目となります。

2. UIC（国際鉄道連合）について

UIC（国際鉄道連合、Union Internationale des Chemins de fer ※フランス語）は、世界の鉄道分野における最も権威のある国際機関の一つとして、鉄道の持続的発展に貢献することを目的に1922年に設立されました。フランス共和国パリに本部を置き、約80か国、220の鉄道事業者・インフラ所有者・鉄道研究機関等が加盟しており、世界中の鉄道ネットワークを結びつけて、技術標準の策定、政策提言、そしてグローバルな協力を推進する中核的な役割を担っています。加えて、会員間の知見の共有や共同研究を通じ、安全性・効率性・環境対応の向上に貢献しています。

3. UICとJR 東日本の活動

UICの設立当初より、日本からは当時の鉄道省が加盟しており、JR 東日本としては1987年の会社発足以降活動に関わっています。UIC 会長、副会長、理事、アジア太平洋地域議長といった要職を継続的に担っており、国際的な鉄道業界でのプレゼンスの向上や国際交流の推進、情報収集を行ってきました。UICには鉄道システムフォーラム、安全プラットフォームといったテーマ単位での活動がありますが、JR 東日本としては特に標準化プラットフォームにおいて議長及び副議長を務めるなど、議論をけん引しており、引き続きUICでの活動を通じて世界の鉄道の発展に寄与していきます。